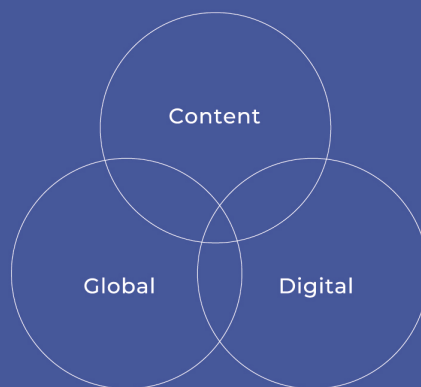




PACIFIC BRIDGE MEDIA AND CONSULTING
株式会社 パシフィック ブリッジ メディア アンド コンサルティング

「信頼されるコンテンツで 世界をつなぎ、豊かで公正な 人類社会を実現する」

これが私たち(株)パシフィック ブリッジ メディア アンド
コンサルティング(PBMC)のミッションです。
その原動力となるのは、「質の高いコンテンツ制作力」、
「日英を中心とする多言語の発信力」、そして「様々な情報
を多角的に発信するネットワークとテクノロジー」です。



代表取締役 CEO
前田 利継 Toshi Maeda

UCバークレー大学院卒業(ジャーナリズム修士)。
国際メディア・ジャーナリズム業界で25年以上の
経験と実績を持つ、メディアとコミュニケーション
の専門家。

日本とアメリカを中心にロイター通信社、AP通信社、CNN、The Japan Timesなどの国際ニュース媒体やアジア主要国の放送局向けに記者やプロデューサー、特派員として活躍。自らのメディア経験をもとに日本企業の国際情報発信を支援するため、2010年に株式会社 パシフィックブリッジ メディア アンド コンサルティング (PBMC) を設立。

また、「J-STORIES」編集長やClubhouse日本公式ニュースルーム「世界のニュース 早読み&深読み」のメインホストも務める。日本外国特派員協会・正会員。元・駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部非常勤講師。

● 海外向け情報発信メディア

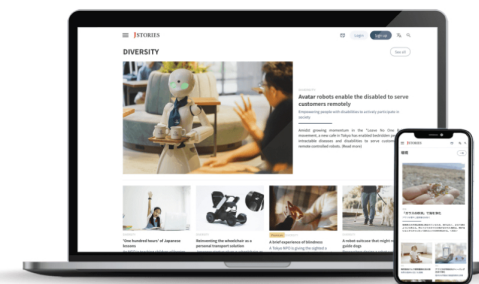
ESGやSDGsの推進に向けて日本 企業が進めているイノベーションを、 世界の視聴者や投資家に伝える 国際ニュースサービスです。

J-STORIESは、日本企業やスタートアップが
提供する様々な社会・環境問題への「解決策
(ソリューション)」や企業の非財務情報を、
国内外のメディアや情報サービスを通じて
海外投資家を含む世界の視聴者にお届け
しています。



公平公正で環境にやさしい社会改革の推進をめざすESG(環境、社会、ガバナンス)やSDGs(持続可能な開発目標)の重要性が高まる中、J-STORIESは日本企業が取り組む新たなイノベーションを世界に伝える新しいバイリンガル・メディアとして2022年にスタート致しました。

脱炭素や環境保護などへのチャレンジだけでなく、Diversity(差別のない職場・社会の実現)や Well-being (幸福な社会生活の追求)、Sustainability(持続可能性)などの各分野における未来志向の動きを記事と動画で、日本語と英語のバイリンガルで報道しています。



英語版 <https://jstories.media>
日本語版 <https://jstories.media/jp>

J-STORIESのニュースおよびニュースレターは、次のような
国際的な情報ネットワークの利用者やメディアの取材記者
向けに配信されています。

配信先：リフィニティブ(世界の金融市場参加者向けニュース
端末Eikonに自動配信)/ Google News / AP通信社 / ロイター /
ブルームバーグ / AFP / The Wall Street Journal / Forbes /
The Japan Times / その他、国内外の主要メディア・専門メディア

J-STORIES :



日本語版 英語版

私たちは、日本から世界へ情報発信を目指すクライアントの皆様を 卓越したコンテンツ制作力で多角的にサポートします。

パシフィックブリッジの制作チームは、海外向け国際ニュースの取材・制作に携わってきたメディアのプロフェッショナルたちを中心に構成されています。そのため、正確かつ訴求力のあるジャーナリズムの手法を活用し、視聴者の目線に立ってわかりやすく表現した内容、そして事実関係の確認を徹底した客観性のあるコンテンツづくりを制作の基本に据えております。情報ネットワークの高度化とグローバル化がとどまることなく続く中、私たちはコンテンツ制作の総合力を駆使し、日本企業が世界の舞台で「信頼」と「企業価値」を高めていただけるよう、様々なサービスをご提供しています。

1 戦略構築 Strategy Building

クライアントの皆様のご要望に応じて、対外発信の目標設定とそれを達成するために最も効果的なコンテンツ制作および広報メディア戦略を提案致します。企業（オウンド）メディアの構築や運営、SNS戦略もサポートしています。

2 ニュース／ジャーナリズム News & Journalism

国際報道の世界で活躍してきたジャーナリズムのプロフェッショナルたちが、情報の受け手を熟知したノウハウとスキルを生かし、高品質で世界から信頼される記事や動画の制作を支えます。取材を通じて、取材対象の潜在的価値を掘り起こし、明確化します。

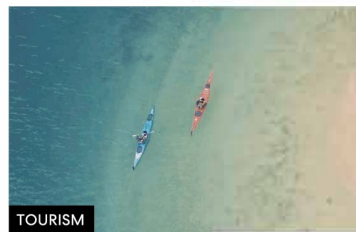
3 コンテンツ制作 Content Production

貴社の価値を世界の隅々まで浸透させるため、日英を中心とした多言語のコンテンツを記事や映像、グラフィックスの組み合わせによって実現。海外市場でも皆様のブランド力を最大限に高めるサポートを致します。

4 編集サポート Editorial Support

海外コミュニケーションの要となる組織トップのスピーチやプレスリリースなどの原稿を、ネイティブの編集者が的確にチェックし、完成度の高いプレゼンテーションを実現します。オンライン会議やビジネス向けコンテンツ制作を徹底的に支援します。

企画制作例 1



訪日外国人向け観光プロモーション クライアント：日本政府様

長崎県対馬の観光プロモーション
動画を英語圏の潜在旅行者を対象
に実写で制作、記事と共に日本を
代表する英字メディアThe Japan Timesのオン
ライン版に掲載。



企画制作例 2



スタートアップの海外人材獲得支援 クライアント：TELEXISTENCE様

最先端のロボット技術を専門とする日本のスタートアップについての短編ドキュメンタリー。世界市場でさらなる成長を遂げるため、シリコンバレーで優秀なエンジニア人材を獲得することを目的として制作されたこの映像は、クライアントのウェブサイトやプレスリリースなどでも活用された。



企画制作例 3



VTuberを使った新オフィス紹介 クライアント：NETFLIX様

Netflixの公式VTuber「N子」が同社の新しい日本オフィスをご案内するVチューバー（アバター）を使った動画。実写とバーチャルが融合する新たな領域にチャレンジした、新しいスタイルの動画制作。



他の主要クライアント：日産自動車、丸紅、ミネベアミツミ、NEC、KDDI、LIXIL、HOYA、グーグル、ジョンソン・エンド・ジョンソン、ディスカバリー・ジャパン、トムソン・ロイター、AP通信社、NHKなど（順不同、敬称略）

よくあるご質問

日本語でのコンテンツも制作可能ですか？

もちろんです。国内向けには日本語、海外向けには英語という日英2言語での制作を同時進行させていただくことも多くあります。日本国内の主要メディアとも連携し、国内市場でのブランディングや広報活動も積極的にサポートしています。またフランス語、スペイン語、中国語などの多言語での制作も得意としています。

動画以外の制作も可能ですか？

弊社では動画だけではなく、テキスト記事、写真、CG制作、ウェブ制作など様々なメディアを包括的に手掛けており、お客様のご要望に合わせて効果的なコンテンツを企画・制作致します。

一般的な制作会社との違いは？

クライアントの皆様がビジネスにおいて達成したい目的を弊社プロデューサーがしっかりと把握させていただいた上で、そのために必要なコンテンツとメディア戦略を提案致します。コンテンツは、あくまで目標達成の手段という位置付けであり、最終ゴールの達成までを情報サイドからサポートします。

制作したコンテンツはどのように利用できるのですか？

国内外における広報、営業、ブランディング、オンライン会議向けなどから、IR（投資家向け）、人材獲得、社内向けまで、それぞれの企業様の価値や認知度、求心力を向上させるための様々な用途でご利用いただいています。

どういう情報を発信すれば良いかわかりません。

企業の強みは、外から見たときのほうが明確になることがあります。弊社はニュース報道のような客観的な視点から、貴社の強みを発見し、グローバルに評価されるストーリー性を伴った情報コンテンツに落とし込みます。

すでにある動画素材を、海外向けに活用できますか？

はい、それは可能ですが、海外向けであれば再編集することをおすすめします。国内向けに制作された動画の場合、翻訳調の英語字幕をつけるだけで、海外の顧客や視聴者に十分にアピールできず、皆様のブランド価値を十分に伝えられないことがよくあります。グローバルに通用するコンテンツになるよう、弊社が素材の再編集をご提案をさせていただきます。

原稿や英語に自信がないのですが、。

大丈夫です！弊社は編集経験が豊富なスタッフが多数在籍しており、原稿執筆や修正を親身になってお手伝い致します。日本語・英語の表現などについても、ネイティブのプロデューサーや編集者が一緒に細かいニュアンスなどまでチェック。英語での原稿代筆やプレゼン資料作成も可能です。



株式会社パシフィックブリッジメディア アンド コンサルティング
〒105-6022 東京都港区虎ノ門4丁目3-1 城山トラストタワー22階
https://pacificbridge.jp
TEL: 050-5527-0955 / E-mail: info@pacificbridge.jp